

調査に係る意見聴取会」会議〔1月16日(水)〕
について(三戸常任理事)

生徒の自殺または自殺が疑われる死亡案件について説明があり、委員の小職、大学教授、社会福祉士、弁護士による意見交換を行った。

(3) 北海道地区原子力災害医療ネットワーク協議会〔1月16日(水)〕について(目黒常任理事)

昨年5月20日、泊村で行った安定ヨウ素剤に係る住民説明会の結果と合わせて、10月22日、ニセコ町等で行った北海道原子力防災訓練および原子力災害医療訓練の実施結果について事務局から報告があった。その後、弘前大学高度被ばく医療支援センター、原子力災害医療・総合支援センターの取り組みや北海道の原子力災害時における医療体制等について説明があった。

(4) 第2回北海道がん対策基金運営委員会〔1月17日(木)〕について(藤原副会長)

本基金の昨年12月末現在の積立状況および自

動販売機や募金箱の設置等の活動状況について報告が行われた。その後、来年度の事業計画(案)と収支予算書(案)について説明があり、助成金の応募資格に市民を対象としたがん対策普及啓発などの事業を実施する「市町村」を追加することとした。また、原資確保のため、新たな商品の開拓や企業・団体への大口寄付の依頼等を行うこととした。

4. 中央情勢報告(笹本常任理事)

「平成31年度予算政府案」について

昨年12月21日に閣議決定された「平成31年度予算政府案」では、一般会計が総額101兆4,564億円となり、初めて100兆円を超えた。そのうち社会保障分野は、過去最大の34兆587億円となったが、高齢化に伴う社会保障費の伸び(自然増)については4,768億円となり、概算要求段階に比べ1,200億円以上の圧縮となったこと等について小職より解説した。

北海道医師会は、 北海道に在住するすべての医師が利用できる 女性医師等支援事業を 推進しています。

北海道医師会は、医師の育児支援や仕事と家庭の両立を支援するために現役の先輩医師による相談窓口を開設しています。この窓口は、北海道に在住するすべての医師が利用できます。詳しくは、下記専用ホームページをご覧ください。

男性医師の
アクセス歓迎



相談窓口

ご相談内容に応じ、先輩医師が適切にアドバイス(電話・FAX・メール)

育児支援

保護者に代わる送迎、病児・病児以外の緊急預かりの手配など

復職研修支援

復職を目指す女性医師等に対し、身近な地域の医療機関で復職研修を実施

介護支援

介護支援・情報提供の整備

北海道医師会 女性医師等支援相談窓口

●詳しくはこちらをご覧ください「女性医師等支援相談窓口」専用ホームページ <http://www.hokkaido.med.or.jp/josei-dr-shien/>

●ご相談はこちらへ ☎ 0120-112-500 ■FAX 011-231-7272 ✉ josei-dr-shien@m.dou.jp

北海道医師会 〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目 <http://www.hokkaido.med.or.jp/>